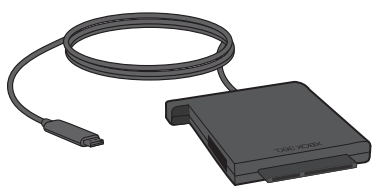
XBOX 360

データ転送ケーブル (リキッド ブラック)
取扱説明書

Part No. X17-67136-01
Printed in China
X17-67136-01

Xbox 360® データ転送ケーブル (リキッド ブラック)

はじめに、この取扱説明書と Xbox 360 本体の取扱説明書をよくお読みください。特に Xbox 360 本体の取扱説明書にある「安全のために」のページは必ずご覧ください。小さいお子様がご使用になる場合は、保護者の方がこの取扱説明書をよくお読みの上、安全にお使いください。お読みになった後は、いつでも見られる場所に大切に保管してください。



本製品をお使いいただくと、ハードディスクに保存したコンテンツを、他の Xbox 360 本体に移動することができます。

本製品は Xbox 360 専用です。

⚠ 重要　ご使用になる前に必ずお読みください。

- **このパッケージに含まれる転送ケーブルは、Xbox 360 S 本体、Xbox 360 (初期型) 本体のどちらにも接続して使用する事が出来ます。**
- 本マニュアルの転送手順が適用されるのは、お手持ちの Xbox 360 本体に 2010 年4 月以降に配信された Xbox LIVE® アップデートが適用されている場合 (ダッシュボード : 2.0.9199.0 以上) に限ります。最新のアップデートを適用するには、Xbox LIVE にサインインするか、http://www.xbox.com/update/ から更新プログラムをダウンロードします。

  なお、ゲームの仕様によりセーブ データを別のデータ保存機器に移動およびコピーすることができないコンテンツがあります。

【内容物】

- 転送ケーブル (リキッド ブラック) ――― 1
- 取扱説明書 ――― 1

移動元のハードディスクのコンテンツを移動先のハードディスクに転送

コンテンツの転送を行うと、転送可能なファイルは移動元のハードディスクから削除され、移動先のハードディスクに追加されます。

ハードディスク間のコンテンツ転送および USB メモリーを使用した転送に関する詳細は http://www.xbox.com/support/ を参照してください。

⚠ 注意

- 転送中は、絶対に Xbox 360 本体の電源を切ったり、ケーブルを抜いたりしないでください。データが破損する原因になります。
- データ転送を行うときには、どのような場合でも、転送中に一部またはすべてのコンテンツが失われる可能性があります。データの転送を行うことにより、お客様はコンテンツの転送によるどのようなデータの紛失のいかなる責任もマイクロソフトが負わないことを承諾したものと見なされます。
- 転送に必要ないコントローラー等のアクセサリーは Xbox 360 本体から必ず外してください。
- 本製品には、小さな形状の部品が含まれている場合があります。3 歳以下のお子様がこれらの部品を口にすると飲み込んでのどに詰まらせる危険性があるため、お子様の手の届かない場所に保管してください。

接続方法

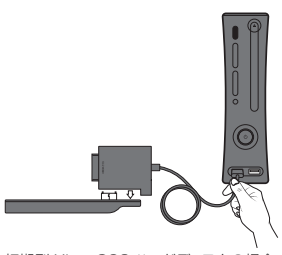
1 移動元のハードディスクが Xbox 360 本体に取り付けられたままの場合は、Xbox 360 本体またはハードディスクの取扱説明書に従って Xbox 360 本体の電源を切ってからハードディスクを取り外します。

2 移動先のハードディスクが Xbox 360 本体に取り付けられている場合は、手順 3 に進みます。 移動先のハードディスクが取り付けられていない場合は、ハードディスクの取扱説明書に従って取り付けます。

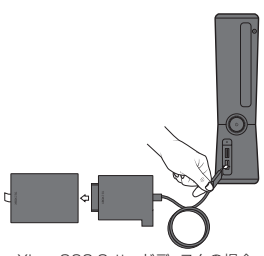
3 転送ケーブルの大きい端子側をハードディスクに接続します。

⚠ 重要

転送ケーブルは、ハードディスクに一定の方向のみで接続できるようになっています。差し込みにくい場合は無理に押し込まず、方向をご確認ください。転送ケーブルの接続方向を次の図に示します。

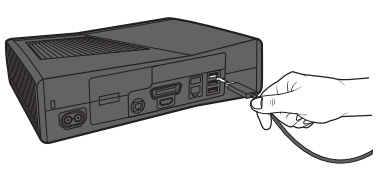


初期型 Xbox 360 ハードディスクの場合



Xbox 360 S ハードディスクの場合

4 転送ケーブルの反対側の端を Xbox 360 本体の前面または背面の USB 端子 (コントローラー端子) に接続します。



5 Xbox 360 本体の取扱説明書に従って、お手持ちのテレビまたはモニターに Xbox 360 本体を接続します。

6 コントローラーを接続して、Xbox 360 本体の電源を入れます。

7 コンテンツ転送手順の指示が画面に表示されたら、Xbox 360 本体にコンテンツを転送するオプションを選択します。移動先のハードディスクと移動元のハードディスクを選択します。

8 転送処理を開始すれば、選択されたデータが転送されます。

9 転送が完了したら、Xbox 360 本体の電源を切り、Xbox 360 本体およびハードディスクから転送ケーブルを取り外します。

⚠ 注意

移動先のハードディスクの空き容量が足りない場合は、転送処理を開始する前に、転送対象のアイテムを減らす必要があります。これを行うには、移動先のコンテンツの一覧からカテゴリーを選択し、転送しないアイテムを除外します。選択されていないアイテムは移動元のハードディスクに残り、転送されることはありません。

また、コンテンツ転送を取り消して、移動先のハードディスクの空き容量を増やすこともできます。これを行うには、[システム設定] の [データ保存機器の管理] で移動先のハードディスクを選択します。その画面で、いくつかのアイテムを削除するか、Xbox 360 データ保存機器用にフォーマットした USB メモリーにデータを移動することができます。転送処理を再開するには、いったん本体から転送ケーブルを取り外してから接続し直します。

新しい本体へのコンテンツ ライセンスの移動

Xbox 360 本体を 2 台以上所有し、データ移動後に、Xbox LIVE マーケットプレースから有料コンテンツをダウンロードした Xbox 360 本体と別の Xbox 360 本体を使用する場合、新しい Xbox 360 本体ではダウンロードしたゲーマータグがオンラインでなければそのコンテンツを使用できません。これはダウンロードした Xbox 360 本体のみに対して、使用許可のライセンスが発行されるためです。以前の Xbox 360 本体で使用していたように、制限なしでコンテンツを楽しみたい場合には、Xbox.com 上で提供されるライセンス移動ツールをご利用ください。詳しくは、http://www.xbox.com/support/ をご覧ください。

⚠ 注意

- 転送するコンテンツの量によっては、転送処理に 1 時間以上かかる場合があります。
- Xbox 360 転送ケーブルは、パソコンの周辺機器ではありません。Xbox 360 本体と Xbox 360 ハードディスクを接続してデータを転送する以外の目的で使用することはできません。転送ケーブルをパソコンや他の USB 機器に接続すると、それらの機器が破損するおそれがあります。
- 転送ケーブルは、コンテンツを転送する目的のみで使います。転送ケーブルは、長期的に Xbox 360 本体と接続して使用するためのものでも、またその他の USB 機器と共に使うためのものでもありません。使用済みの転送ケーブルを廃棄する場合は、取扱説明書を読み、お住まいの地域の自治体の規則に従って処分してください。
- 転送後、移動元のハードディスクの選択されたデータは自動的に削除されます。
- 同じコンテンツを、二つ以上のデータ保存機器に同時に保存することはできません。
- Xbox 360 本体に取り付けられるハードディスクは 1 台のみです。
- コンテンツの転送中は Xbox® ガイドを使えません。
- パフォーマンス向上のため、ハードディスクの容量の一部は Xbox 360 本体によって使用されます。つまり、元の容量よりも、コンテンツの保存に使用可能な容量は少なくなります。
- お手持ちの Xbox 360 本体でのハードディスクの使用に関する詳細は、Xbox 360 本体の取扱説明書または http://www.xbox.com/support/ を参照してください。

トラブルシューティング

問題が発生した場合は、次の対処方法をお試しください。

コンテンツの転送手順が画面に表示されない

転送ケーブルを Xbox 360 本体に接続した状態で電源を入れてもコンテンツ転送手順が画面に表示されない場合は、Xbox 360 本体に最新のアップデートが適用されているかを確認してください。アップデートを適用するには、Xbox LIVE にサインインするか、http://www.xbox.com/update/ の Xbox 360 本体のアップデートサイトから更新プログラムをダウンロードします。それでもデータ転送手順の指示が表示されない場合は、Xbox ダッシュボードの [システム設定] 画面を開き、[データ保存機器の管理] で既存のハードディスク (横に転送ケーブルのアイコンが付いています) を選択し、コンテンツの転送を選択します。

お問い合わせ先

日本マイクロソフト株式会社
Xbox® カスタマー サポート 0120-220-340
受付時間 10:00 ～ 18:00 (日、祝日を除く)
詳しくは次の URL をご覧ください。http://www.xbox.com/support/

このドキュメントに含まれる情報は、URL やその他のインターネット Web サイトの参照も含めて、通知なしに変更されることがあります。特に断りがない限り、このドキュメントで例として示される会社、組織、製品、ドメイン名、電子メール アドレス、ロゴ、人物、場所、およびイベントは架空のものであり、実際の会社、組織、製品、ドメイン名、電子メール アドレス、ロゴ、人物、場所、およびイベントとは関係ありません。ユーザーには、該当するすべての著作権法に従う責任があります。Microsoft の書面による明示的な許諾がある場合を除き、著作権による権利の制限を受けずに、このドキュメントのいかなる部分も、いかなる形式、いかなる手段 (電子的方法、機械的方法、写真、録音など)、またいかなる目的でも複製、検索システムへの格納または導入、および転送することはできません。
Microsoft は、このドキュメントに含まれる対象に関連して特許、特許出願、商標、著作権、またはその他の知的財産権を有している場合があります。Microsoft の書面による使用許諾契約に明示的に示されない限り、このドキュメントの提供によって、それらの特許、商標、著作権、またはその他の知的財産権に対する使用許諾が与えられることはありません。

この装置は、一般財団法人 VCCI 協会の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

© 2011 Microsoft Corporation. All Rights Reserved. Microsoft、Xbox、Xbox 360、Xbox LIVE、Xbox 関連ロゴは、米国 Microsoft Corporation および/ またはその関連会社の商標です。